

1年次

アーティストとしての自分のありようを模索する1年間

基礎造形演習(週3授業)

多様な表現手法と画材・素材・道具の使い方を作品づくりを通じて経験し自分にあった表現手法の適性を測る。

1. 平面造形表現

- 絵画・版画・写真をはじめとする多面的に平面造形の表現手法を経験する。
- 表現の手法と関わる画材やメディアについての経験値も積んでいく。



2. 立体造形表現

- 彫刻・彫塑・陶芸などを中心とする立体造形の表現手法を経験する。
- 様々な素材の知識や立体化の手法について経験値を積む。



3. デジタル造形表現

- デジタルツールを使った平面造形、立体造形の表現手法を経験する。
- 併せてメディアアート、VRペインティングなどにも挑戦する。



芸術詳論

芸術の歴史や成り立ちを理解し、現在の作り手としての立ち位置を知り、自分の表現活動の裏付けを考察していく。

- 美術史(西洋・東洋ほか)
- 日本美術・芸術
- 現代アート



引用:光村図書

デッサン

観察力、洞察力の向上と基礎造形力研鑽。

- 静物デッサン
- ドローイング



デザイン基礎

デザイン面からアートの見せ方を学ぶとともに基礎的なデザイン技術を学ぶ。

- アートに活かせるデザイン法則
- 色彩構成
- デザインツールの基本操作技術



創作演習(週2授業)

多様な制作実験・研究を通じて自分の作品の方向性や自分の作品づくりに適した表現手法の方向性を探りつつ、年4回の公式課題制作で完成作品を作り上げ、表現者としての自分のありようの仮説検証を繰り返す。

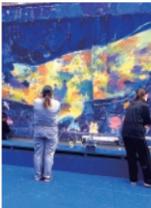
制作実験・検証

4つの公式課題制作と合評

制作実験・研究項目

コンセプト面の構築実験

- 何を表現したいか。
- なぜそれを表現したいか。
- どういう反応を期待するか。



表現手法面の実験

- 気になる画材や道具を試す。
- 気になる表現方法に挑戦する。



完成作品に触れる経験

- 多様なアート作品展示の現物を見る。
- 自分の制作意図との比較検証。

社会性・時代性の研究

- 日本や世界の時代の流れを研究。
- 身の回りの事象・社会現象の研究。
- 自分との関連性の検証。

外部アトリエでの制作

クリエイティブ学科専用の外部アトリエを大阪梅田中崎町の複合型ギャラリーのイロリムラ敷地内に確保しました。自由な制作空間としての活用はもとより、常に複数の展示会が行われているギャラリーであるため、日常的に多様な作家さんや作品と交流し、多くの刺激を受けられるクリエイティブな空間として学生の皆さんにとっての価値のある機能を提供できます。



2年次

模索した結果を試しながら「糸口」をつかむ1年間

創作実習(週4授業)

1年次の創作演習や

- 展示を伴う公式制作の練習制作というアプローチ



発表活動の経験

アートは作り手と見る人との間に介在することによって、そして自分のアートを見たり体験する人とのリアル様々な発見をしたり、たりを繰り返し、次のアーティストとして進化エイティブコースの最

■デジタル空間での



の重要性を知る。

発表活動はアートクリエイティブコースの重要な学びのポイントの1つです。

展示

■外部施設での展示(関西・関東)



■コンペ・コンテスト・イベント出品・出展



産官学連携

アート作品とビジネス関係性を学ぶ。

- 想定される連携
- 実際の産官学連携
- 企業依頼案件等

演習

や社会活動との

- パターンの演習
- 案件への取組みへの取組み

クロッキー&

基礎造形力の研鑽とメンテナンス。

- デッサン
- ドローイング
- セルフポートレート



ドローイング

選択授業

表現の幅と領域の拡大にチャレンジ。

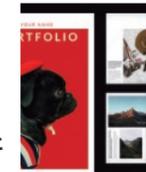
- 映像/アニメーション/動画
- 本、書籍
- パフォーマンス/インスタレーション
- メディアアート



セルフプロデュース

将来目標と卒業後の行動計画づくりに取り組む。

- アーティストステートメントの構築
- ポートフォリオ制作
- 卒業後のプロモーション計画
- 外部関係者との交流とネットワークづくり



卒業後

糸口からの突破を図る

研究科(3年次)に進学

対外活動、対外交流をさらに高める。

- 2年間でつかんだ自分の糸口、それを突破口にさらなる作家活動の活性化を図ります。展示・発表活動を本格化させていきます。
- 一方で対外的な人的交流も積極的に進めていきます。アーティストとしての活動の進化や高度化は自分と関わる多くの人の関係性の中で形成されていくものだからです。

学校設備を使っの制作や既存授業の再履修、他コースの授業も受けられます。

- 自身の作品制作を学校の教室や外部アトリエを使って取り組むことができます。
- またアートクリエイティブコースの1・2年授業の再受講やイラストや3Dなど他コースの授業も受けられます。
- 併せて学校が取組むプロジェクトへの参加も積極的にしていただきます。



作家活動/美・芸大進学

作家活動の本格化と就職・アルバイトの両立

- 2年間でつかんだ自分の糸口、それを突破口にさらなる作家活動の活性化を図ります。展示・発表活動を本格化させていきます。
- 作家活動をつづけるためには生活費はもとより、画材や活動費、交流のための費用など必ずお金が必要になります。日常的な生活を支える経済的な裏付けを確保するために、自分の作家スタイルにあった就職やアルバイトなどに取組む心構えは必要だと思われます。

美大・芸大に編入学

- 学びのステージを専門学校から美大などのステージに広げていく方法です。
- 大学ならではの様々な環境の変化はありますが、アートクリエイティブコースで鍛え上げたココロと技術をもって、さらなる高みを目指してほしいと思います。

